

平成30年度事業計画

資料2

区分	事業名	予算額 (前年度予算額)	事業内容	備考																																			
経常費	図書館管理費	211,352千円 (221,280千円)	中央図書館、地区図書館及び分室の施設の維持管理、図書館サービス網拡大のための、移動図書館の運行並びに図書資料の電算管理に伴うコンピューターの借り上げ等により図書館運営と機能の充実を図る。また、中央図書館及び各地区図書館及び分室に勤務する、司書である嘱託職員の報酬の支給中央図書館等施設利用者の駐車場確保を行う。	・ 中央・地区図書館、分室の施設の運営及び維持管理 ・ 奉仕業務嘱託職員の配置、清掃・施設管理業務等の業務委託の実施、各種機器等の借上及び各種の施設の維持管理、保守点検 ・ 図書館資料の整理及び利用促進や各種研修会への参加等の実施 ・ 中央図書館の駐車場不足、利用者の不便を解消するため、常磐公共駐車場を設置																																			
	図書資料整備費	52,467千円 (52,784千円)	市民の学習ニーズに応えるため、図書及び各種資料の充実を図る。 ◎購入予定冊数 <table><tr><td></td><td>中央図書館※</td><td>末広図書館</td><td>永山図書館</td><td>東光図書館</td><td>神楽図書館</td><td>合計</td></tr><tr><td>図書</td><td>11,930</td><td>1,964</td><td>1,964</td><td>1,964</td><td>1,964</td><td>19,786冊</td></tr><tr><td>視聴覚資料</td><td>239</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>559点</td></tr><tr><td>雑誌</td><td>162</td><td>93</td><td>93</td><td>93</td><td>93</td><td>534誌</td></tr><tr><td>新聞</td><td>15</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>43紙</td></tr></table> ※分室含む		中央図書館※	末広図書館	永山図書館	東光図書館	神楽図書館	合計	図書	11,930	1,964	1,964	1,964	1,964	19,786冊	視聴覚資料	239	80	80	80	80	559点	雑誌	162	93	93	93	93	534誌	新聞	15	7	7	7	7	43紙	中央図書館 30,923 千円(うち分室分 6,660千円) 末広図書館 5,386 千円 永山図書館 5,386 千円 東光図書館 5,386 千円 神楽図書館 5,386 千円 合 計 52,467 千円
		中央図書館※	末広図書館	永山図書館	東光図書館	神楽図書館	合計																																
	図書	11,930	1,964	1,964	1,964	1,964	19,786冊																																
	視聴覚資料	239	80	80	80	80	559点																																
雑誌	162	93	93	93	93	534誌																																	
新聞	15	7	7	7	7	43紙																																	
経常費計	263,819千円 (274,064千円)																																						
臨時費	図書館事業活動費	151千円 (662千円)	・ 自動車文庫及び地域図書コーナーの開設により図書館サービス網の拡大を図る。 ・ 企画展開催 ・ 図書宅配サービス、視力障害者サービス等障害者に対する活動を行う。	・ 自動車文庫活動 ステーション数 55か所(月1回巡回) ・ 企画展の開催(展示コーナー・ミニギャラリー) ・ 視力障害者関係事業(対面朗読、録音図書の製作等) ※ボランティアの協力で実施 ・ 図書の宅配や本のリサイクル市の実施 ※ボランティアの協力で実施																																			
	読書環境整備促進費	1,106千円 (1,150千円)	「旭川市子ども読書活動推進計画」に基づき「読書活動の環境整備、充実」、「読書に親しむための機会の提供」及び「読書活動についての啓発活動と推進体制の整備」を推進するため、図書館が主導となり関連部局や学校、地域住民と連携を図りながら事業を展開していく。 また、子どもの読書環境の充実を図るため、小中学校の夏・冬休み中の中央図書館月曜開館を継続試行する。	・ 子どもの読書に関する講演会や学校図書館関係者研修会等を開催する。 ・ 各種ボランティア講座や研修会を実施しボランティア活動を支援する。 ・ 第63回児童生徒読書感想文コンクールの開催 募集期間 7月上旬～8月下旬 ・ 第20回『図書館まつり』の開催 ・ 「図書館通信」「(各地区館)だより」「(各分館)だより」の発行 ・ 小中学校の夏・冬休み期間中の中央図書館の月曜日開館 (夏休み 7/30、8/6、8/13の3日間 冬休み 12/24、1/7、1/15の3日間)																																			
	中央図書館開館拡充費(新規)	1,572千円 (1,180千円)	中央図書館の開館時間を拡充し読書環境の充実を図る。(通年実施) ・開館時間延長分の経費 光熱水費 1,572千円(上下水道代158千円、電気代1,018千円、ガス代396千円)	・ 中央図書館の開館時間を30分早め9時30分とする。 ・ 火～金曜日の閉館時間を19時とする。 ・ 土・日・祝日の閉館時間を1時間延長し18時とする。																																			
	図書館補修費	10,480千円 (42,741千円)	中央図書館及び地区図書館の施設修繕や設備機器の更新を行い改修整備を進める。 【中央図書館】 真空式温水器の更新(委託) 9,624千円 自動ドア駆動装置等更新 856千円	中央図書館空調設備更新の委託内容 ・真空式温水器更新(館内暖房機器) ・自動ドア駆動装置等更新(正面玄関・駐輪所側入口外部)																																			
	臨時費計	13,309千円 (1,812千円)																																					
	合 計	277,128千円 (275,876千円)																																					